

令和6年3月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの報告が、依然として続いています。咳エチケットや手洗いなど、基本的な感染対策を心がけましょう。
- 梅毒は20歳代を中心として幅広い年齢層で発生しており、注意が必要です。

◇ 全数把握の対象 <2024年3月期に報告された全数把握疾患>

E型肝炎	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2件
レジオネラ症	4件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
アメーバ赤痢	2件	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3件	水痘(入院例に限る)	1件
急性脳炎	2件	梅毒	19件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3件	百日咳	1件

- 1 **E型肝炎**:50歳代~70歳代で、経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
- 2 **レジオネラ症**:40歳代~80歳代で、水系感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が2件です。
- 3 **アメーバ赤痢**:40歳代~60歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 4 **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:40歳代~90歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 5 **急性脳炎**:いずれも10歳未満で、病原体は不明、感染経路等も不明です。
- 6 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:70歳代~80歳代で、血清群はA群が1件、B群が1件、G群が1件です。創傷感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が2件です。
- 7 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:40歳代~50歳代で、性的接触(同性間)と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
- 8 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:70歳代(ワクチン接種歴不明)で、感染経路等不明です。
- 9 **侵襲性肺炎球菌感染症**:90歳代(ワクチン接種歴1回)で、感染経路等不明です。
- 10 **水痘(入院例に限る)**:90歳代(ワクチン接種歴不明)で、飛沫・飛沫核感染と推定されています。
- 11 **梅毒**:20歳代~80歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期7件、早期顕症梅毒Ⅱ期7件、晩期顕症梅毒1件、無症状病原体保有者4件です。性的接触による感染と推定される報告が16件(異性間13件、同性間1件、詳細不明2件)、感染経路等不明の報告が3件ありました。
- 12 **百日咳**:10歳代(ワクチン接種歴4回)で、感染経路等不明です。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

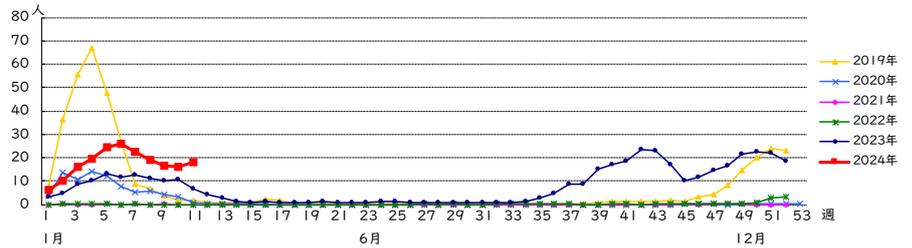
URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/eiken/>

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
2024年 第9週	2月26日～3月 3日
第10週	3月 4日～3月10日
第11週	3月11日～3月17日

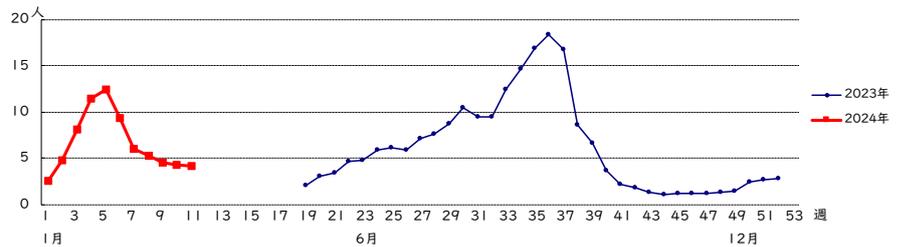
1 インフルエンザ

2023年第39週に流行注意報発令基準値(定点あたり10.00)を上回りました。2020年以降の動向と比較すると報告数が多く、第11週は18.22です。詳細は、横浜市インフルエンザ流行情報26号をご覧ください。



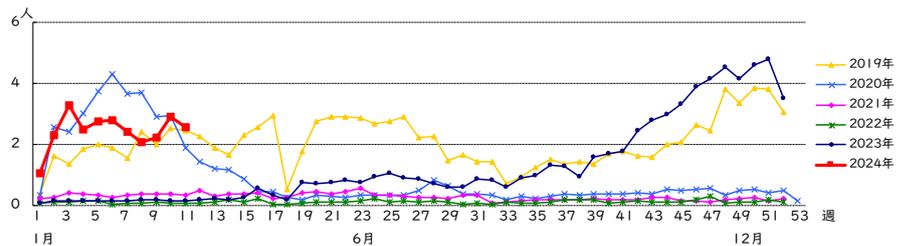
2 新型コロナウイルス感染症

2024年第1週以降、増加傾向でしたが、第6週以降は減少傾向に転じ、第11週は4.19です。



3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2024年第4週以降、過去5年と比較しやや多い状態で推移しています。第11週は2.55です。



4 性感染症(2024年2月)

性器クラミジア感染症	男性:22件	女性:18件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:6件	女性:12件
尖圭コンジローマ	男性:5件	女性:2件	淋菌感染症	男性:14件	女性:3件

5 基幹定点週報

	第9週	第10週	第11週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(2024年2月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-